常任委員会の審査

本会議から付託された議案の審査の主な内容は次のとおりです。

総務企画

市長専決処分の報告と承認（一般会計補正予算）、群馬県市町村管理組合の規約変更に関する協議２議案は、審査の結果全会一致で承認、可決されました。

質疑　市町村管理組合から富士見村が５月４日、吉井町は５月31日に脱退しているのに報告が遅いのではないか、また加入市町村数は。

答弁　県に10月９日までに報告することになっています。現在36市町村です。

市民経済

出産一時金が36万円から40万円に改正

今回の国民健康保険の改正で、平成21年10月１日から平成23年３月31日までの間に出産した人につき支給。市の補助を合わせると43万円となります。この件につき周知徹底や滞納者への対応等の質疑がありましたが、全会一致で可決されました。

子供の医療費が無料に

県の医療補助の一部改正により、小学生までの限定だった医療費無料化が中学生までに拡大したことにより、本市の子育て支援の推進のための改正です。保護者の保険税滞納等の質疑もありましたが、全会一致で可決されました。

建設水道

渋川市公園条例の一部を改正する条例

付託された条例について開会後すぐ休憩し現地調査をして審査を実施しました。

開発行為により設置された公園は、２カ所でいずれも八木原地区です。

公園の除草等の一般管理や遊具の管理についてを中心に質疑されました。

地区公園の管理については、市の指定管理となる予定であると答弁されましたが、地元管理を推進するよう意見があり、今後検討すると答弁がありました。この議案については全会一致で可決されました。

設置された高田公園（八木原地区）

教育福祉

今回の定例会で、本委員会に付託された議案等はありませんでした。

予算特別委員会の審査

平成21年度の補正予算が９月25日審査され、全議案とも原案のとおり可決されました。一般会計予算は総額に２億６９９万２０００円が追加され歳入歳出予算の総額は３３３億４８１９万４０００円となりました。

歳入関係

質疑　雑入の箱田多目的集会施設負担金のことについて聞きたい。

答弁　国の補助で建設された施設が焼失したため調整などに時間を要しました。

質疑　この施設は、地域住民が今までと同様に使えるのか。

答弁　従来と同様に使用できます。

歳出関係

質疑　町内会館建設事業について、市内には、どんな施設がどれくらいあるか。

答弁　１８４施設のうち、自治会等の所有は１５１施設です。事業主体が不明なものもあり調査中です。

今後も自治会等の地元移管を進める検討をしていきます。

質疑　女性特有のがん検診事業の取り組み状況は。

答弁　対象者数は子宮けいがんが２４３６人で乳がん２９８１人です。受診率が17・９％と低いため、向上を目指します。

質疑　受診率アップのための市単独事業への取り組みや、統合する赤城の南北診療所と渋川総合病院との連携などの考えは。

答弁　夜間対応、休日検診等、医師不足等の厳しい中ですが、検討していきます。

質疑　子育て応援特別手当事業のスケジュールは。

答弁　議決の後12月１日号の広報に出して12月15日から受付、第１回の払い込みは２月19日の予定です。

（※国の方針により中止予定）

決算特別委員会の審査

平成20年度の決算議案の審査をするため、28人の委員による決算特別委員会を設置し、10月2日、5日の2日間、審査が行われ、18議案すべてが認定されました。

一般会計

歳入

質疑　貸借対照表の中で、未収金、回収不納見込み額、組合積立金などについてと、売却可能資産が少ないなど後年度負担への見解は。

答弁　財政コストの上昇を抑えるため、今後は売却可能資産の利活用等も合わせて、債権の圧縮に努め安定的な財政運営を図ります。

質疑　市税の関係で20年度決算は当初予算に対して税収が上向いているが、無理な取り立て等はなかったか。また、滞納者の実態、手続き、徴収方法は。

答弁　予算と収納済み額の関係は、結果として上向きました。電話催告や窓口延長を強化し、滞納処分などを法にのっとって行います。

質疑　入湯税の不納欠損が高額。また、客から預かった税はどうなっているか。

答弁　大口の企業の倒産に絡んで高額になりました。入湯税は目的税で温泉の施設整備などに使われ、預かった税は率先して納めてもらうよう努力しています。

市消防団の秋季点検

議会費・総務費・消防費

質疑　消防団員、交通指導員の報酬アップについて、民間委託等を考えれば相当な格差で、若い人の苦労で維持されている。シルバー等への委託や、イベント時の手当支給の考えは。

答弁　基本は奉仕活動で、民間委託等は考えていません。合併前の地域の事情もあり、検討していきます。

質疑　女性懇談会はどう生かされるのか。

答弁　20年度は赤城地区と北橘地区で実施。意見を反映させるよう会議録を作成し、各部に配付しています。

質疑　防犯灯設置、維持管理の状況は。設置場所はどのように選んでいるのか。

答弁　市内には合計７０２３基が設置されています。

　設置場所については自治会から要望を出してもらい、検討しています。

質疑　旧渋川市の町名表示実施事業はどうなっているか。

答弁　合併時の大字渋川については、旧町名を使いたいとの要望が多く、21の自治会で1万８０００筆の土地をどうするか、住民説明会、自治会長会議等で説明し、検討をしています。

質疑　予算額に対し郵便料が多く残った理由は。

答弁　昨年度から郵便を一元管理、市内特別郵便を利用し、安価で送るようにした結果です。今後も事務経費の縮減に努めていきます。

民生費・衛生費

質疑　不妊治療費助成事業の状況と成果は。

答弁　５万円を限度に２分の１助成で、申請21人中９人に子供ができました。また県外の医療機関も対象となっています。

質疑　灯油購入費補助事業の実績は。

答弁　１５００世帯の想定で、１０８９世帯の申請がありました。

質疑　シルバーカード発行事業は不要と考えるが。

答弁　65歳以上の方１０４７人に発行し、簡易的に高齢者であることを証明できる便利なもので継続します。

質疑　ごみ減量対策事業について、野焼き、家庭でのごみの焼却は禁止されているはずだが、実態は。

答弁　家庭でのごみ焼却、河川への投げ捨て等については、その都度連絡を受け、対応しています。広報などで呼びかけ、ごみ環境の整備や減量化を推進します。

質疑　資源ごみの回収について、量が減少しているようだが今後の取り組みは。

答弁　資源ごみについては景気の影響が考えられます。ごみの減量化のため、引き続き市民にご協力願います。

質疑　環境まつりは盛況だったようだが、評価は。

答弁　紙パック、廃タイヤ、バッテリー、消火器などの回収を行い、環境意識の向上が図られました。今後の事業は、実行委員会で検討協議していきます。

質疑　障害者自立支援で廃止になった事業を、市単独で補完できないか。

答弁　12事業が廃止となり、新しい制度に移行しています。他市の動向も見ながら補完の検討をしていきます。

労働費・農林水産業費・商工費・土木費

質疑　こんにゃく経営安定と遊休農地対策の現状は。民家の近くで消毒のトラブルも起きている。対策は。

答弁　認定農業者を中心にこんにゃく栽培の作業機械などに助成します。遊休農地対策の実施面積は約１１０haです。消毒等のトラブルは関係機関を通じて適切な指導を継続して行います。

質疑　借上賃貸住宅で、街中に人を呼び込もうという事業の成果は。

答弁　49戸中入居は41戸で入居率83・7％です。所得制限のため、母子父子家庭等は少ない状況。緩和等についてはオーナー会議に諮り、調整が必要となります。

質疑　林道赤城白樺線はイヌワシ生息のため工事が中断しているが、その後は。

答弁　現在、生息の確認はできていません。延長６３７３ｍの内、残り２５７２ｍですが再検討が必要です。

質疑　商工会活性化支援事業の成果は。

答弁　プレミアム付商品券は、各地区とも換金率99％以上で、好評です。経済波及効果は不詳ですが、引き続き実施を検討します。

質疑　あじさい公園に隣接する雑木林を公園化しては。

答弁　開花時期には、ちょうちん飾り、シルバー案内人、ライトアップなどで２万４０００人が入園し、隠れたスポットですが、拡張等の計画はありません。

質疑　群馬用水工事の大量の水は、マイクロ発電に使えないか。可能性は。

答弁　水利権上の制約等があり、検討はするが難しいと考えます。

質疑　工場設置奨励事業で、市長が認める場合、奨励金を交付し企業を誘致するなど、誘致の形を示しては。

答弁　経済の活性化につながりますが、昭和59年の工場設置条例が改正されず20年以上経過。今後、適地等の検討も含めて見直します。

教育費

質疑　南雲幼稚園の園舎が解体され畑に戻されたが、遊具はどこへ行ったのか。

答弁　建物はアスベストの問題があり、遊具も古くなっていたため処分しました。

質疑　中学生海外派遣事業は行き先が統一されていない。改善の考えは。

答弁　各地区で不均衡のないよう割り振っています。今後は自由に選べるようにしたいが、調整が必要です。

質疑　海外派遣については、１５５２万円の決算。行きたくても行けない子供もいるが、個人負担15万円も含め、見直しの考えは。

答弁　子供にとって貴重な体験で、周囲への波及効果も大です。全員の派遣は困難ですが、工夫しながら続けたいと考えています。

質疑　渋川市美術館は、建物賃貸料の値下げ交渉はできないか。

答弁　契約については、合意書に基づき10年後の変更で、来年度がその時期です。

質疑　美術館は外観はきれいだが、はりや床にひびがある。建物の危険性は。

答弁　昭和35年頃の鉄筋コンクリート造で、耐震調査を行っており、今後も契約の期間を短くするなどして慎重に対応していきます。

質疑　小中学校費、マイタウンティーチャーについて。

答弁　教員免許が採用の条件です。幅広く呼びかけ、よい人材の確保に努めています。学校ごとに要望を聞き、少人数できめ細やかな指導ができるようにします。

質疑　地域に埋もれている無形文化財の保護伝承は。

答弁　地元の協力が必要です。自治会長等と連絡を取りつつ検討していきます。

質疑　委託料は工事と比べると非常に低い価格で入札されているが、基準は。耐震補強は追加工事が多いが、うまく整理できないか。

答弁　業務委託については収益率の幅の関係で低価格化の傾向ですが、確かな理由は不明です。基本的には地元業者の参入を念頭においています。耐震補強工事については、見えない部分が把握できないため、追加が多くなってしまいます。

国民健康保険特別会計

質疑　市長は特別会計にもメスを入れるというが、どのような改革をするのか。

答弁　税収が減る傾向のなかで、歳入・歳出を精査しながら予算組みをしていきたいと考えています。

水道事業会計

質疑　水道事業で累積欠損４億６５４９万円。これからどうなるのか。

答弁　大口滞納者対策を実施し改善に努めています。平成24年から黒字に転じ、料金は北橘地区、子持地区に合わせ平成25年以降に判断をします。

渋川市美術館